1 次の計算をしなさい。

(1) $320 + 250$

(2) $6.5 - 3.82$

(3) $884 \div 34$

(4) $3 + 5 \times 2$

(5) $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$

(6) $3\frac{2}{7} - 2\frac{5}{7}$

(7) 2.8×3.4

(8) $43.68 \div 5.6$

(9) $1.4 \times 3.14 + 8.6 \times 3.14$

2 次の問いに答えなさい。

(1) 10 兆を 1000 でわった数は、□億になります。□にあてはまる数を答えなさい。

(2) 56789 を四捨五入(ししゃごにゅう)して、百の位までのがい数で表しなさい。

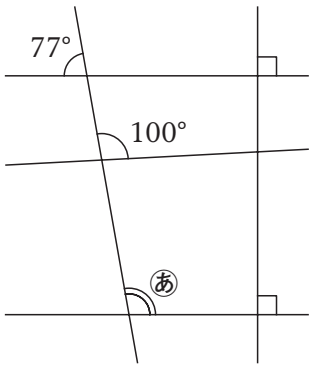
(3) 帯分数 $2\frac{3}{5}$ を仮分数(かぶんすう)になおしなさい。

(4) 3m + 5cm =□ m の、□にあてはまる数を小数で答えなさい。

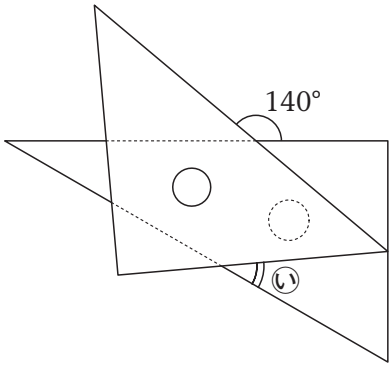
(5) 3 以上 20 未満の整数は全部で何個(なんこ)ありますか。

3 次の問いに答えなさい。

(1) 右の図で、㋐の角の大きさを求めなさい。

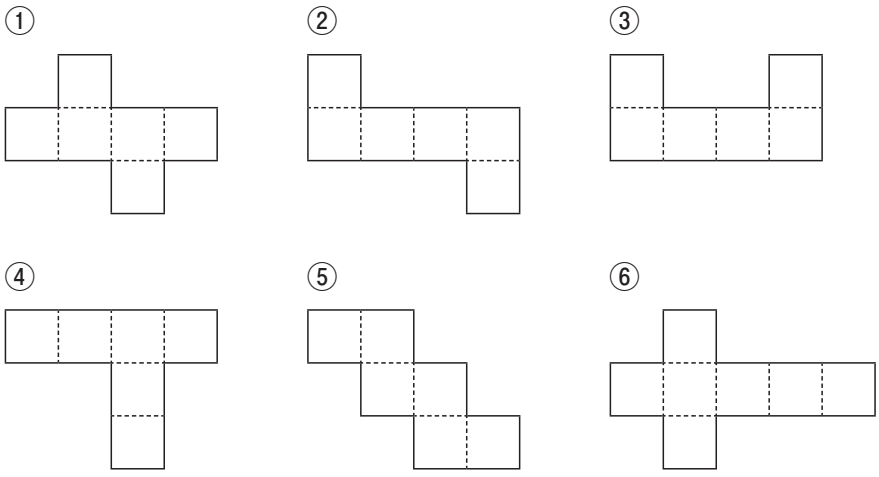


(2) 右の図は、1組の三角じょうぎを組み合わせた図です。㋑の角の大きさを求めなさい。

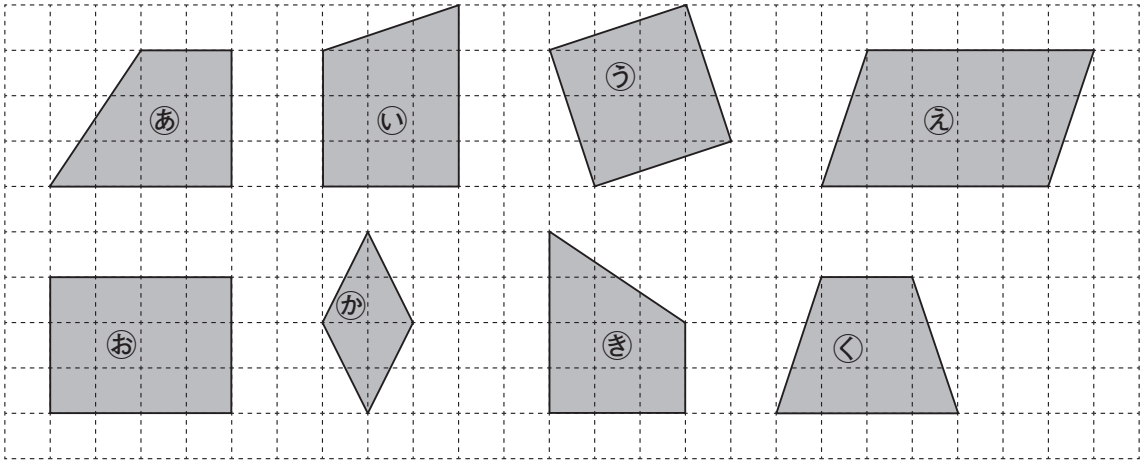


(3) たてが 8cm、横が 9.5cm の長方形があります。この長方形の面積を変えないで、横の長さを 5.5cm 短くすると、たての長さは何 cm になりますか。考え方や式もかいて、答えを求めなさい。

(4) 次の①～⑥のうち、立方体の正しい展開図(てんかいず)はどれですか。すべて選んで番号で答えなさい。



4 **下の図は 1 cm の方眼(ほうがん)です。次の問いに答えなさい。**



(1) 四角形㋐と合同な四角形はどれですか。㋑～㋒の中から 1 つ選んで、記号で答えなさい。

(2) 2 本の対角線をひいてできる 4 つの三角形がすべて合同になる四角形はどれですか。㋐～㋒の中からすべて選んで、記号で答えなさい。

(3) 2 本の対角線の長さが等しい四角形はどれですか。㋐～㋒の中からすべて選んで、記号で答えなさい。

5　たろうさんとはなこさんが、小数のかけ算について先生と話しています。会話文を読んで、あとの問いに答えなさい。

> 【あ】2.5 × 0.4
> 【い】(2.5 × 3.5) × 1.6
> 【う】2.5 × 2.5 × 2.4 × 3.2

先生　　：【あ】を計算するとどうなるかな。
たろうさん：筆算で計算すると 1 になりました。
はなこさん：そういえば、2.5 × 4 ＝ 10 を使うと計算が簡単（かんたん）になるということを習いました。それに似（に）た形をしていますね。
先生　　：その通り。いいところに気づいたね。では、【い】はどうかな。次の【計算のきまり】を使って、何かくふうできないかな。

> 【計算のきまり】
> ①　■×●＝●×■
> ②（■×●）×▲＝■×（●×▲）

はなこさん：わたしは次の方法を考えました。
【方法 1】(2.5 × 3.5) × 1.6 ＝ 2.5 × (3.5 × 1.6) ＝ 2.5 × 5.6 ＝（�え）
先生　　：たろうさんが答えてくれた【あ】の 2.5 × 0.4 ＝ 1 は、何かヒントにならないかな。
たろうさん：1.6 は 0.4 の 4 倍なので、2.5 × 1.6 に注目するといいかもしれませんね。次の方法で計算したらどうでしょう。
【方法 2】(2.5 × 3.5) × 1.6 ＝ (3.5 × 2.5) × 1.6 ＝ 3.5 × (2.5 × 1.6) ＝ 3.5 ×（�お）＝（�え）
はなこさん：3.5 ×（�お）の部分は暗算でもできそうですね。
先生　　：どうやら、うまい方法が見つかったようだね。では、【う】の問題もやってみよう。

⑴　�え、�お にあてはまる数をそれぞれ答えなさい。

⑵　【方法 1】【方法 2】では、どの【計算のきまり】を使っていますか。次のア～エの中から最も適切（てきせつ）なものを 1 つ選んで、記号で答えなさい。

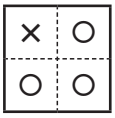
ア【方法 1】では①だけを使い、【方法 2】では②だけを使っている。
イ【方法 1】では①だけを使い、【方法 2】では①、②の両方を使っている。
ウ【方法 1】では②だけを使い、【方法 2】では①だけを使っている。
エ【方法 1】では②だけを使い、【方法 2】では①、②の両方を使っている。

⑶　【う】の計算をしなさい。

6　○印と×印のかかれた図1のようなタイルがたくさんあります。

このタイルを図2のようにつなげていきます。左から2番目のタイルは左はしのタイルを基準(きじゅん)にして右に90度回転してあり、左から3番目のタイルは2番目のタイルを基準にして右に90度回転してあります。このあとも同じようにして、最後に置いたタイルを基準にして右に90度回転した状態(じょうたい)のタイルを右につなげていきます。

図1



ならんだタイルの上半分を「上のだん」、下半分を「下のだん」とよぶことにします。たとえば、図3の上のだんには、○印が4個、×印が2個あります。

このとき、次の問いに答えなさい。

図2

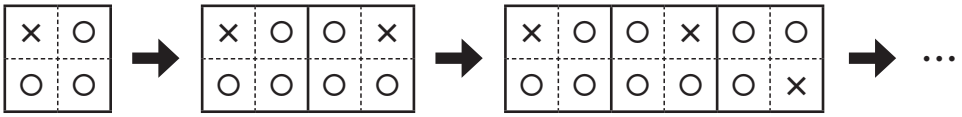
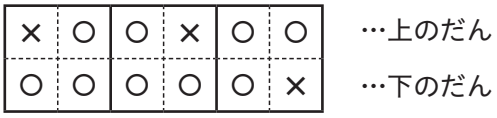


図3



⑴　左から6番目のタイルの○印と×印は、どのような配置になりますか。解答らんの図にかき入れなさい。

⑵　8まいのタイルをつなげたとき、上のだんには何個の○印がありますか。

⑶　上のだんの○印がちょうど100個になるのは、タイルを何まいつなげたときですか。